

事業概要

令和8（2026）年5月

川崎市公文書館

目 次

I 施設等の概要

1	設置目的	1
2	事業	1
3	組織	1
4	施設	1
5	開設経過	2
6	機能	2
7	保存文書数	2
8	平面図	3

II 業務の概要

1	利用状況	4
2	レファレンス利用状況	4
3	公文書等収蔵状況	5
4	歴史・文化普及事業	6
5	展示	7
6	館外展示	7
7	現用公文書の引継ぎ状況	7
8	保管簿冊数	7
9	現用公文書の廃棄	8
10	広報事業	8
11	連携事業	9
12	市史編さん事業	9
13	駐車場貸付事業	10

I 施設等の概要

1 設置目的

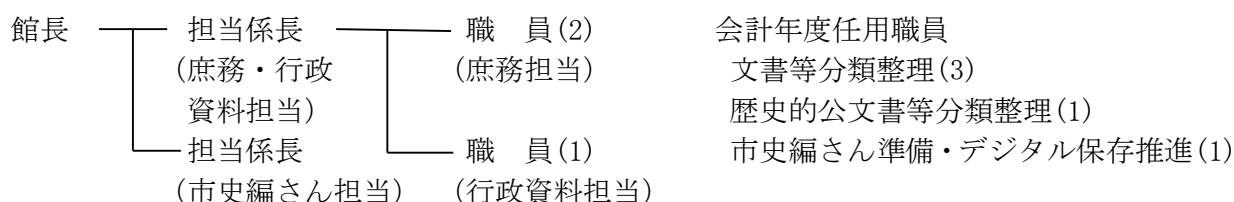
市民の生活の向上及び文化の発展に資するため、歴史的文化的価値のある公文書及び資料類を適正に保存し、かつ、有効に活用するとともに、市民生活の場に関する情報を中心とした統合的な情報公開を推進することを目的とする。

2 事業

- (1) 川崎市情報公開条例に基づく公文書の開示及び情報の提供に関すること。
- (2) 情報化社会に対応するための市民の研修活動の場の提供に関すること。
- (3) 公文書及び資料類の収集、整理及び保存に関すること。
- (4) 歴史的公文書等を利用に供すること。
- (5) 歴史的公文書等の調査、研究及び普及活動に関すること。
- (6) 市史に関すること。

3 組織

(令和8年4月1日現在)



4 施設

開設：昭和59年10月1日
構造：鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建
敷地面積：3,783.20㎡
延床面積：2,451.38㎡ (建築面積 981.62㎡)
書庫延床面積：1,245.60㎡ (書架総延長 11.27km)

5 公文書館開設経過

公文書館に求められる保存文書の利用目的 (開館当初)

- ①市民の知る権利を充足させるため、常に請求に応じ開示できるよう公文書の検索と閲覧機能
- ②文書主管課から行政執行上の必要に応じ、何時でも迅速に閲覧できるように分類整理する
- ③公文書の史的価値観に基づき適切に収集、保存、管理を行う。更に保存期間経過後の文書の散逸を防ぐ

昭和55年6月 川崎市情報公開準備委員会発足

情報公開制度の検討過程で、文書管理の徹底の必要性が指摘され、文書を一元管理する公文書館構想が持ち上がる。

昭和56年3月 川崎市公文書館構想委員会設置

昭和57年6月 総務局に情報公開準備室を設置

昭和58年1月 建設着工 (昭和59年3月竣工 事業費約8億4千万円)

昭和59年10月	川崎市公文書館条例施行、川崎市情報公開条例施行
昭和60年	川崎市史編纂開始
昭和61年1月	川崎市個人情報保護条例施行
平成7年	情報公開担当部門分離
平成9年	川崎市史編纂完了
平成15年	文書管理システム稼働（公文書の電子化）
平成19年	川崎市情報公開運営審議会諮問・答申（歴史的公文書について）
平成20年	川崎市公文書館条例一部改正（歴史的公文書関係規定整備）

6 機能

(1) 中間書庫としての文書管理

- ア 公文書の保存期間満了前に公文書館が集中管理することにより、文書の検索機能や所在管理を強化し、情報公開や行政利用に即応する。
- イ 保存期間満了前の公文書の散逸を防止し、歴史的公文書への移行をスムーズに行う。

(2) 歴史的公文書等の収集、保存及び情報提供

- ア 歴史を編むために必要な記録を保存し、閲覧に供する。
- イ 行政評価の材料となる市政の施策等の記録を保存し、閲覧に供する。

(3) 歴史資料を教材とした各種講座・講演会を開催し、市民の川崎市の歴史・文化への関心を喚起する。

※館の開設当時は、情報公開制度の運営についても公文書館で行っていた。

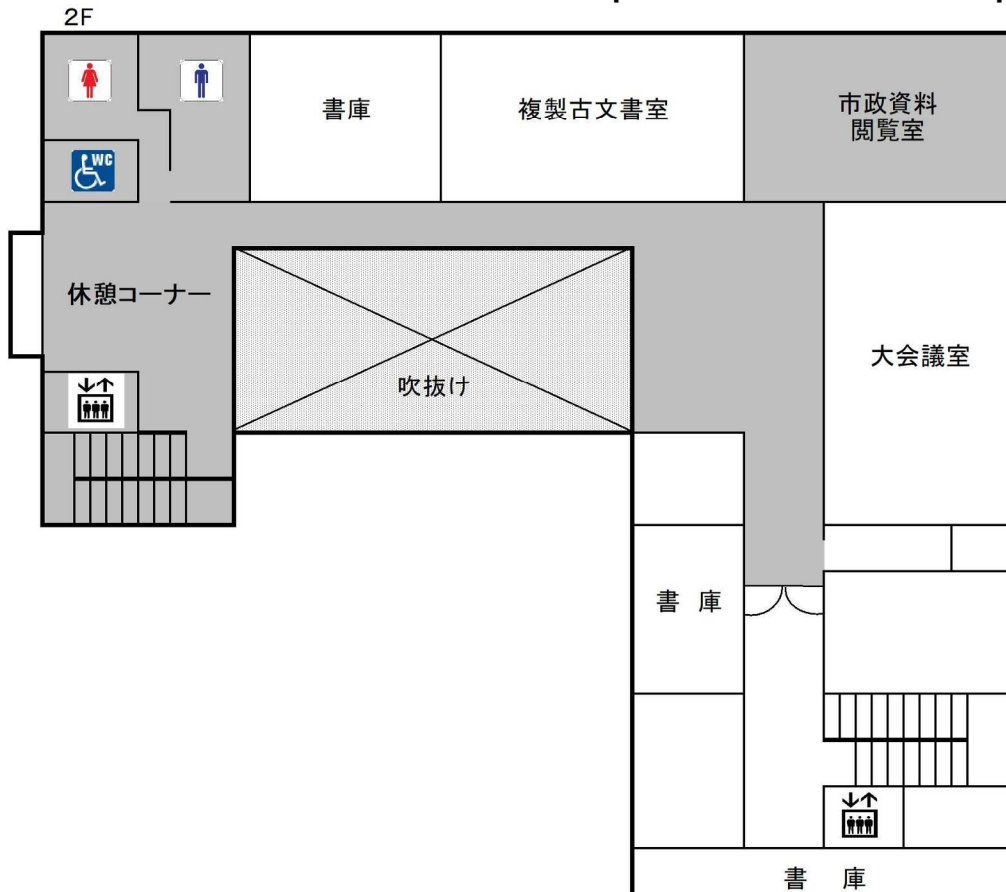
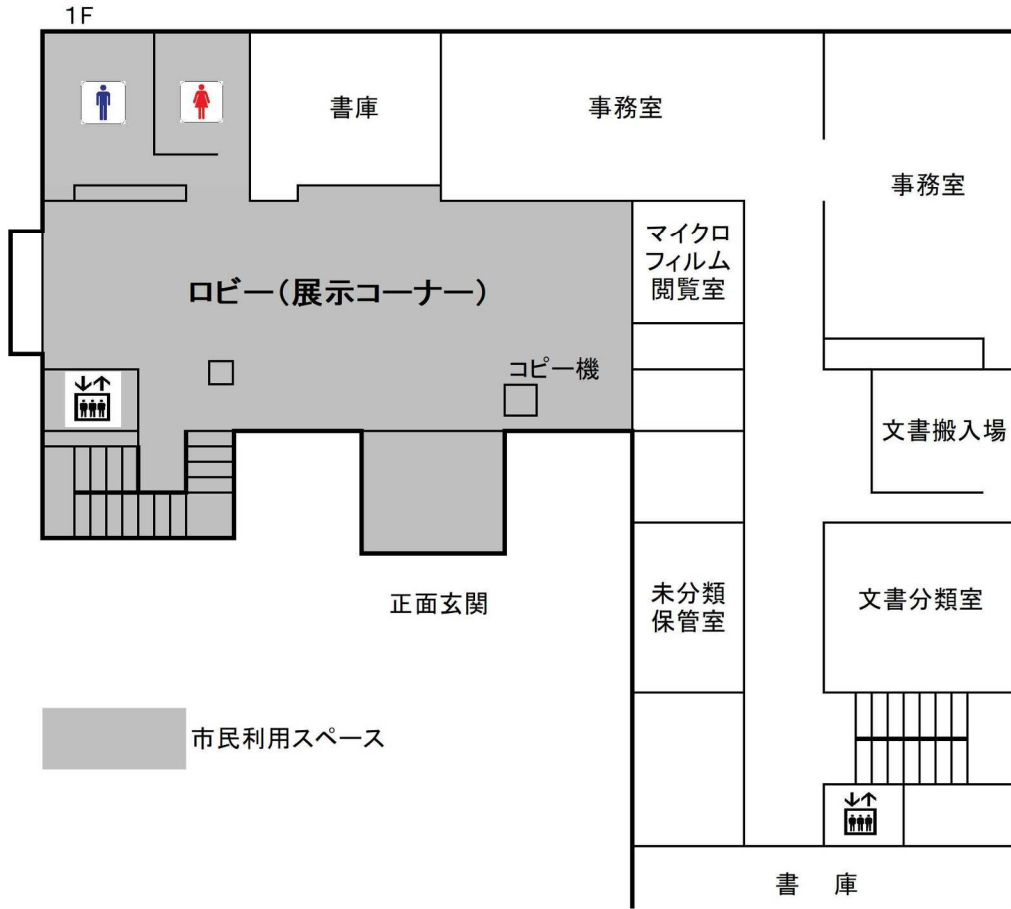
現在は、総務企画局コンプライアンス推進・行政情報管理部行政情報課情報公開担当が行っている。

7 保存文書数

① 古文書等	3, 956点
② 複製古文書	3, 479冊
③ 歴史的公文書	6, 107簿冊
④ 歴史図書	13, 111冊
⑤ 戦災資料	600点
⑥ 市政資料	23, 773冊
⑦ 公文書館保存公文書	160, 674簿冊
第1種文書（30年保存）	49, 899簿冊
第2種文書（10年保存）	44, 347簿冊
第3種文書（5年保存）	66, 428簿冊

（令和8年3月31日現在）

8 平面図



II 業務の概要

1 公文書館利用状況

(1) 年度別利用者数

年度	行政資料等 閲覧	公文書公開 情報提供等	古文書閲覧	学 習	公文書閲覧 (職員)	その他	合 計
令和2年度	143	18	44	940	616	964	2,725
令和3年度	148	9	92	720	604	1,116	2,689
令和4年度	182	13	121	259	691	843	2,109
令和5年度	111	29	113	327	695	1,007	2,282
令和6年度	142	11	95	75	474	1,781	2,578
令和7年度	71	12	85	21	571	817	1,577

(単位：人 ※公文書閲覧のみ件数) 注) 公文書公開等は、開示請求のほか情報提供請求を含む。

(2) 歴史的公文書閲覧、公文書開示請求、個人情報開示請求(件数)

年度	歴史的公文書等閲覧	公文書開示請求	個人情報開示請求
令和2年度	107	6	1
令和3年度	105	22	0
令和4年度	102	24	2
令和5年度	112	26	0
令和6年度	68	22	0
令和7年度	64	8	7

2 レファレンス利用状況

令和7年度利用状況

利用月	件数	主 な 内 容
4 月	4	<ul style="list-style-type: none"> ・等覚院に植栽されているツツジの由来について知りたい。 ・川崎大空襲で亡くなった父親の詳細が知りたい。 ・令和6年度入門古文書講座で使用したテキストに掲載されている絵図について、より詳細に知りたい。 ・昭和33年台風の概要、およびニヶ領用水川崎堀の工事時期を知りたい
6 月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・下小田中地域の換地に関連して、その前後の地番の対照を知りたい。 ・多摩区菅仙谷・西菅周辺における過去50年の開発の歴史を調査している。関連する記録や書籍を知りたい。 ・西福寺古墳、ならびに馬絹古墳について、文化財登録時の資料を探している。
7 月	3	<ul style="list-style-type: none"> ・鷺沼地域の歴史、とくに遺跡等について知りたい。 ・昭和2年、川崎中学校の設立に際して、石井泰助が寄付した土地に関する一次資料に近いものはあるか。 ・橘樹郡域を確定することができる史料はあるか。

9 月	2	・初代市長石井泰助が所有していた土地について知りたい。 ・川崎市合併前の日吉村村議会の議事録や村長名などの記録について知りたい。
10 月	1	・『神奈川県史』掲載の社会事業協会について、川崎市域での活動を知りたい。
12 月	4	・戦災資料『小林英男日記』『平林疆日記』について、その人物の来歴、当館収蔵経緯について知りたい。 ・昭和 46 年に始まる伊藤市政について、前任の金刺前市長からの「市長事務引継書類」の内容について知りたい。 ・中島飛行機に関わる資料の所在について知りたい。 ・浅野セメントの振灰について、本市とのやりとりを知りたい。
1 月	1	・江戸時代から現在にかけての等々力緑地の変遷について、主に多摩川や溜池との関係から知りたい。
2 月	1	・本市域に所在する神社のうち、特徴的な鳥居を構えているものについて、古文書なども含めて関係資料が存在するか知りたい。
3 月	1	・アミガサ事件について、当時の一次資料を探している。
合 計	20	

3 歴史的公文書等収蔵状況

(令和 8 年 3 月 31 日現在)

(1) 歴史的公文書 年代別収蔵状況(冊)

市 制 施 行 前	市 制 施 行 後	合 計
157	5,950	6,107

注) 市制施行(大正 13 年 7 月 1 日)前には、施行後における市編入前の町村の文書を含む。

注) 冊数は紙文書の歴史的公文書のみ

(2) 歴史的公文書 種別収蔵状況(冊)

第 1 種文書	第 2 種文書	第 3 種文書	その他文書	合 計
3,187	1,398	1,506	16	6,107

注) 第 1 種文書(30 年保存)には、旧公文書管理規則における永年保存文書を含む。

注) 第 2 種文書は 10 年保存、第 3 種文書は 5 年保存、その他文書は記録・資料等文書分類のない文書

(3) 歴史的公文書(市制施行前) 町村別収蔵状況(冊)

町 名	収蔵数	町 名	収蔵数	町 名	収蔵数
川 崎 町	21	大 師 河 原 村	5	田 島 村・田 島 町	8
御 幸 村	11	住 吉 村	14	日 吉 村	1
高 津 村	17	中 原 村・中 原 町	16	橘 村	1
宮 前 村	4	向 丘 村	15	生 田 村	29
稲 田 村	4	柿 生 村 外 1 ヶ 村 組 合	10	橘 樹 郡 役 所	1
				合 計	157

注) 大正 12 年：田島村が田島町となる。

注) 大正 14 年：中原村と住吉村が廃止統合され中原町が誕生

注) 大正 15 年：橘樹郡役所が廃止される。

(4) その他資料

項目	数量	単位	備考
電子歴史的公文書	3, 0 9 3	冊	
マイクロフィルム	2, 6 9 7	巻	古文書、歴史的公文書等
ポスター	1 0 3	点	記録として保存すべきと思われるもの

4 歴史・文化普及事業

(1) 古文書講座

ア 入門古文書講座 夏 (全3回) 40名募集 応募者62名、受講者41名

期 日 令和7年8月2日・9日・23日 (土)

講 師 布川寛大 (川崎市公文書館)

会 場 川崎市生涯学習プラザ 201 会議室

イ 第一回 入門古文書講座ステップアップ編 (全2回)

30名募集 応募者33名、受講者29名

期 日 令和7年9月20日・27日 (土)

講 師 布川寛大 (川崎市公文書館)

会 場 川崎市生涯学習プラザ 301 会議室

ウ 中級古文書講座 (全3回) 40名募集 応募者30名、受講者27名

期 日 令和7年10月11日・18日・25日 (土)

講 師 小松和史氏 (埼玉県歴史と民俗の博物館 学芸員)

会 場 川崎市生涯学習プラザ 301 会議室

エ 入門古文書講座 冬 (全3回) 40名募集 応募者35名、受講者32名

期 日 令和7年11月29日・12月6日・13日 (土)

講 師 舟津悠紀 (川崎市公文書館)

会 場 川崎市生涯学習プラザ 301 会議室

オ 第二回 入門古文書講座ステップアップ編 (全2回)

30名募集 応募者28名、受講者26名

期 日 令和8年1月24日・31日 (土)

講 師 舟津悠紀 (川崎市公文書館)

会 場 川崎市生涯学習プラザ 301 会議室

(2) 歴史講座

令和7年10月19日 (日) 64名募集 応募者48名、受講者38名

演 題 「江戸後期の川崎の製塩業」

講 師 落合功氏 (青山学院大学経済学部教授)

会 場 川崎市大山街道ふるさと館 2階イベントホール

(3) 歴史講演会

令和8年3月8日 (日) 募集100名 (先着順) 受講者55名

演 題 「田中丘隅における文芸と経済」

講 師 小室 正記氏 (慶応義塾大学名誉教授)

会 場 東海道かわさき宿交流館

5 展示

- ① 常設展示 「川崎市公文書館 ―川崎市公文書館の役割―
- ② 常設展示 「川崎市域の変遷 ～川崎市の成り立ちとその広がり～」
- ③ 常設展示 「公文書の変遷 ～近世から近現代まで～」
- ④ 企画展示 ―あなたに伝えたい記録と記憶 公文書館所蔵資料から―
第19回「川崎市誕生！」
令和7年4月1日（火）から9月30日（火）まで
第20回「川崎と国勢調査」
令和7年10月1日（水）から3月31日（火）まで
- ⑤ 特設コーナー
「市史」の時代：市制40周年の『川崎市史』編さん事業
- ⑥ 小展示
「ランキングの江戸時代！」

6 館外展示（場所 川崎市平和館：川崎市平和館との共催事業）

川崎市平和館との共催事業（場所 川崎市平和館）
「社会教育施設が映す戦争の時代―官・民が交差する公共の「場」―」
令和8年3月7日（土）から5月10日（日）まで

7 現用公文書の引継状況（令和6年度現用公文書引継）

（1）市長事務部局

第1回	7月11日	総務企画、財政（収納対策部）、経済労働、健康福祉、危機管理本部、市民オンブズマン、会計室
第2回	7月23日	財政（本庁分）、市民文化、まちづくり、
第3回	8月8日	環境、こども未来、建設緑政、港湾、臨海部国際戦略本部

（2）区役所

川崎区	9月24・25日	幸区	9月3日	中原区	9月5日
高津区	9月10日	宮前区	10月8日	多摩区	9月11日
麻生区	10月2日				

（3）他任命

上下水道局	10月29日	教育委員会	10月22日
交通局	10月22日	選挙管理委員会	10月1日・15日
病院局	10月24日	監査事務局	10月22日
消防局	10月24日	議会局	10月29日

8 公文書館保管簿冊数

公文書館保管文書は増加が続いているが、平成26年度以降、所管課から公文書館に引継がれる簿冊が急激に増加した。

	1種	2種	3種	計	前年比増減数
平成30年度末	37,717	34,950	50,660	123,327	5,391
令和元年度末	39,151	36,311	53,500	128,962	5,635
令和2年度末	40,875	37,500	55,417	133,792	4,830
令和3年度末	41,883	38,030	56,710	136,623	2,831
令和4年度末	44,246	40,067	58,439	142,752	6,129
令和5年度末	47,067	42,759	63,130	152,956	10,204
令和6年度末 a	49,066	43,771	66,493	159,330	6,374
令和7年度廃棄文書 b	1,380	4,342	16,749	22,471	
令和7年度引継文書 c	2,213	4,918	16,684	23,815	
令和7年度末 d=a+b+c	49,899	44,347	66,428	160,674	
前年度比増減数 d-a	833	576	▲65	1,344	1,344

9 現用公文書の廃棄

(1) 廃棄業務日程 (単位:kg)

実施日		廃棄量
第1回	6月17日	15,230
第2回	7月4日	21,140
第3回	12月11日	15,380
計		51,750 (22,471 簿冊、1,088 箱)

(2) 廃棄量の推移 (単位:kg)

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
39,990	42,970	48,070	47,500	51,750

10 広報事業

(1) 公文書館ホームページ

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/288-3-4-0-0-0-0-0-0-0.html>

- ・公文書館について、公文書館リンク集、公文書館関連規定、出版物、利用案内、展示案内、所蔵文書、講座案内、川崎市史（市制100周年記念版）

(2) 見学

なし

1 1 連携事業

- (1) インターンシップ
令和7年9月2日（火）～9月6日（土）まで（実日数5日）
大学生2名
概要説明、古文書解読実習、配架実習、関連施設見学など

1 2 市史編さん事業

- (1) 目的
- ・川崎市制100周年を記念して、川崎市を「知って、関わって、好きになってもらう」ことを目指し、令和6年度から令和8年度末にかけて、新しいかたちの川崎市史（川崎の歴史の本）を制作する。
 - ・親しみやすく、手に取りやすいものとする。
 - ・川崎市の歴史や文化を知ってもらい次世代につなげるものとする。
 - ・市民に制作プロセスへ関わってもらう。
- (2) ターゲット
- ・幅広い世代に読んでもらえる内容とする。
 - ・若い世代・子育て世代をメインターゲットとする。
 - ・小学生から高校生が読むこともできるよう配慮する。
- (3) コンセプト
- ア 分かりやすく・伝わるもの
- ・写真・イラストなどを効果的に組み合わせた紙面
 - ・子どもが読んで難しすぎず、大人にも読みごたえのある内容
 - ・知りたい、知ってもらいたいテーマや時代を中心に掲載
- イ 制作プロセスの重視
- ・掲載テーマなどの選定過程でワークショップやアンケートなどを通じ市民意見を反映
 - ・さまざまな経験・知見を持つ方の意見を取り込む編集懇談会を開催
- ウ デジタルの活用
- ・デジタル版で制作（冊子版も制作）
 - ・制作過程の見える化・情報発信（SNS等の活用）
- (4) 発行のかたち
- 書名 『川崎歴史100年』
形態 デジタル版と冊子版を発行予定
仕様 A5判・横書き・約200ページ、オールカラー
- (5) 市民の関わる機会（令和7年度実績）
- ア アンケート（全7日間）
- 期 日 令和7年10月12日、18日、19日／11月2日、8日、16日
会 場 あさお区民まつり、多摩区民祭、幸区民祭、みんなの川崎祭、キラリフェス（高津区）、宮前区民祭
方 法 パネルへのシール貼りで書名投票とWebフォームでアンケートを実施
結 果 パネル形式は2,017件の回答、Webフォーム形式1,891件の回答
投票の結果を踏まえ書名は『川崎歴史100年』に決定

- イ ワークショップ（全3回） 15名募集 応募者23名、参加者合計16名
期 日 令和7年7月19日、21日、23日、26日
会 場 川崎市役所本庁舎、川崎市産業振興会館の会議室
議 題 市内在住の小学5～6年生が記者として川崎の海苔づくりの歴史と、神奈川県最古のお寺の影向寺の歴史や伝承を取材
結 果 小学生記者が取材した内容は記事にまとめ「川崎の歴史の本」に掲載
ワークショップ後に、アフターイベントとして市長に取材結果を報告（8月1日開催）
- ウ 編集懇談会（全5回） 編集懇談会委員（15名）は別紙の一覧のとおり
- ・第4回
期 日 令和7年4月22日
会 場 川崎市総合自治会館会議室
議 題 取材先候補について／街歩きスポットについて
 - ・第5回
期 日 令和7年7月17日
会 場 川崎市総合自治会館会議室
議 題 本のデザインの考え方について（1）／市民アンケートについて
 - ・第6回
期 日 令和7年9月24日
会 場 川崎市総合自治会館会議室
議 題 本のデザインの考え方について（2）／書名の検討について
 - ・第7回
期 日 令和8年12月11日
会 場 川崎市総合自治会館会議室
議 題 市民アンケート結果を踏まえた本の広報施策について
 - ・第8回
期 日 令和8年2月5日
会 場 川崎市総合自治会館会議室
議 題 本の購入特典について

13 駐車場貸付事業

（1）目的

市有財産の有効活用による財源確保と適正な駐車場利用を目的とする。
なお、公文書館利用者に限り、入庫から60分までは駐車料金を免除する。

（2）借受者の選定方法

プロポーザル方式による借受者の公募により選定

川崎市史市制 100 周年記念版編集懇談会委員

氏名	フリガナ	所属等
阿久津 麻実	アクツ アサミ	mama-on! 事務局
大城 英理子	オオキ エリコ	NPO 法人ミニカワサキ 理事長
大島 哲也	オオシマ テツヤ	川崎商工会議所 企画広報部 部長
落合 功	オチアイ コウ	青山学院大学 経済学部教授
嶋田 正邦	シマダ マサクニ	かわさきドリームミュージカル実行委員会 代表
鈴木 ひでちか	スズキ ヒデチカ	一般社団法人日本だじゃれ活用協会 代表理事
鈴木 勇一郎	スズキ ユウイチロウ	川崎市市民ミュージアム 学芸員
反町 充宏	ソリマチ ミツヒロ	一般社団法人川崎市商店街連合会 理事・青年部長
高田 ユリ	タカダ ユリ	富士通株式会社 総務本部富士通テクノロジーパーク事業所長
竹内 元浩	タケウチ モトヒロ	前川崎市政策評価審査委員会 委員
中村 ふみよ	ナカムラ フミヨ	かわさきママのわ 事務局
にしにし家	ニシニシケ	多摩区PRアンバサダー
羽賀 優希	ハガ ユウキ	川崎ワカモノ Lab
福森 義之	フクモリ ヨシユキ	公益財団法人かわさき市民活動センター 総務課 経理担当課長
望月 一樹	モチヅキ カズキ	神奈川県立歴史博物館 館長